



幸せを生む施設 笑顔の恵泉
福祉・介護に輝きを求めて

きずな

社会福祉法人 明石恵泉福祉会
広報誌 2020年 秋号

* Contents *

- コラム「生活期リハビリテーション」の取り組み
- 施設特集「第2 特別養護老人ホーム恵泉」
- 施設トピックス
- 面会制限中の各施設の取り組み
- 情報アラカルト



品質保証

ISO9001 認証取得

明石恵泉福祉会は福祉サービスの質とご利用者、ご家族の満足度の向上を目指し「介護サービスの質を保証する、組織マネジメントの仕組みが整っていること」「その仕組みに基づいて作成されたマニュアルに従って施設が適切に運営されていること」が第三者認証機関に認められ「認証評価」を得ています。

■ 特別養護老人ホーム恵泉

発行 社会福祉法人明石恵泉福祉会

■ 恵泉第2 特別養護老人ホーム

編集 広報委員会

■ 恵泉第3 特別養護老人ホーム

刊行 令和2年10月

■ 介護老人保健施設恵泉

WEB <http://www.akashi-keisen.com/>

■ ケアハウス恵泉・第2 ケアハウス恵泉

所在地 〒674-0051

■ 恵泉グループホーム

明石市大久保町大窪 2818

■ 恵泉きずな



～『生活期リハビリテーション』の取り組み～

生活期リハビリテーション推進チームリーダー
作業療法士 上田 章弘

「あなたのしたいを本気で考える！」 これは明石恵泉福祉会で法人一丸となって取り組んでいる「生活期リハビリテーション」（以下生活期リハ）のキャッチフレーズです。

「したい」を本気で考えるとは・・・

- ・ 本人ど真ん中で物事を考えていきます。
- ・ 本人や家族、多職種との対話を重視していきます。
- ・ 本人にとって本当に必要なニーズを深掘りしていきます。
- ・ 様々な専門職がOneTeamとなり多職種協働して本人を支援していきます。
- ・ 本人を生活者として捉え、生きる営みに焦点を当て包括的視点で考えていきます。
- ・ 本人の強みにフォーカスしていくことを心掛けていきます。
- ・ 歳をとっても病気を抱えていても、必ずその人には可能性があると考えています。
- ・ 機能回復から、心身機能を活かした活動と参加に焦点をおいた生活重視の関わりを考えていきます。
- ・ 本人の生活を過去、現在、未来と一貫して連続したStoryとして考えていきます。
- ・ 本人、家族、職員、地域のWell-beingを常に考えていきます。

今回は生活期リハの本質の1つである「可能性」について少し話をしたいと思います。

「病気を治す！」 “障害を無くす！” “出来なくなったことを今までのように出来るようにする！”といったことに可能性はあるか？”と言われれば、もしかしたら可能性は非常に低いかもしれませんが。では、どのようなことに可能性があるのでしょうか？

答えは『日常の生活がちょっとHappyになる！という可能性』です。我々が関わっている時期は「急性期」でも「回復期」でもなく、「生活期」なのだ！ということです。「病院」ではなく、「介護施設」なのです！「治す場所」ではなく、「活かす場所」なのです！だから可能性がいっぱいあるのです。だから可能性の塊なのです。

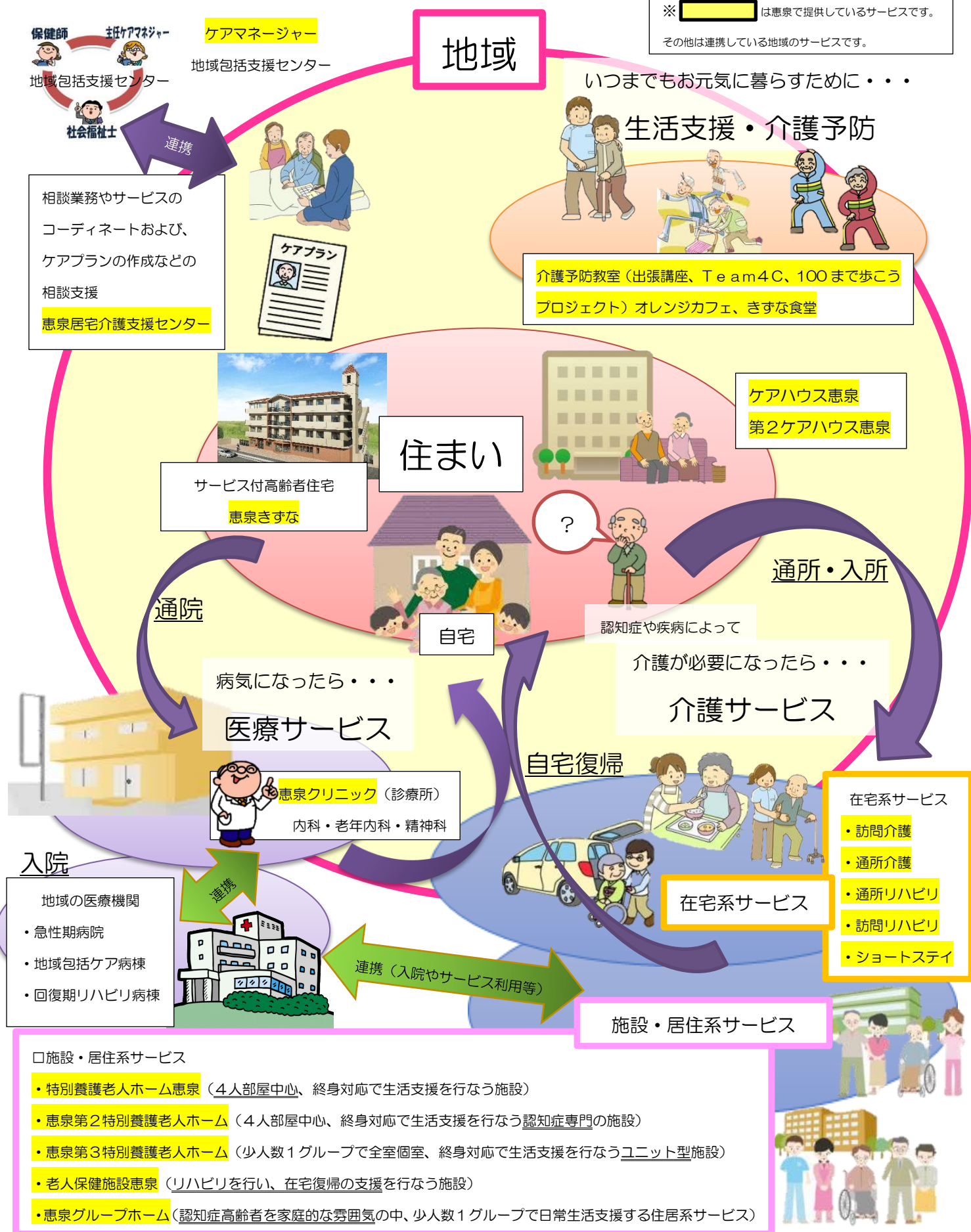
今ある機能を活かすことを考えると、可能性がいっぱい出てきます。職員は「歳をとっても、持病があっても、必ずその人には日常の生活がちょっとHappyになる！という可能性がある」と考えて日々利用者様と関わっています。

一人ひとりの可能性を信じ、これからも「したい」を本気で考えていきたいと思います！

恵泉は様々なサービスで高齢者・地域を支援します

《恵泉 “smile ☺” サービスMAP》

※ は恵泉で提供しているサービスです。
 その他は連携している地域のサービスです。



恵泉第2特別養護老人ホーム（認知症専門特養）

～ みんなの『楽しい』を創る ケア ～

第2特養は、すべてのご利用者が『**認知症**』という病気により、日常生活を維持する事にご自分では困難な場面があります。ご利用者の皆様が施設で「**楽しく**」生活できる事を目指し職員一同一丸となってケアをしています。



自分「らしく」楽しく生きる！

その方1人ひとりの生活歴や生活のあらゆる場面の、**得意な事**や**好きな事**を活かし、日常の楽しい時間を創っています！



元書道の師範でした。書く事が得意で、大好きです。

習字を書いている時間が、自分「らしさ」を発揮できる、楽しい時間になっています！書いた作品は居室に飾るなどし、いつでも自身の作品を見れるようにし、生活すべてに楽しみを創っています！

昔から、**編み物**をする事が趣味でした。

コロナ禍でなかなか会えないご家族のためにプレゼントを編んでいます。

1日10分の編み物の時間とご家族の事を思う時間、これもお本人にとっての楽しい時間となっています！



ご自宅では **農家** を営んでおりました。

普段から社交的な性格で人と接する事が大好きです。施設でも野菜やお花を栽培し、成った野菜をいただくのが一番楽しい時間です。

手先が器用で細かい作業を好まれています。

このコロナ禍を、ご利用者も職員も一緒に乗り越えていく事と疫病退散の願いを込め、アマビエ人形を作成しました。作成している時間や完成した人形を眺める事も楽しみです！



ご利用者 も 職員 も みんな で 楽しく ！

『楽しい』は連鎖します！ ご利用者が楽しいと職員も、職員が楽しいとご利用者も！ みんな で楽しい時間を創ります！

音楽レク

毎週1回、多くのご利用者と共に、職員が演奏するキーボードに合わせ、たくさんの歌を歌います。歌を歌うことが好きなご利用者が多く、昔ながらの童謡や、昭和の歌謡曲など、若かりし頃の青春を思い出す事に、心が高ぶる時間です。みんなで歌う事がご利用者にとっても楽しみになっています！



お馴染みのラジオ体操第1・第2や手の平を太陽に♪、そして手先をはじめ全身を使う体操など、様々な体操を職員のみでなく、時にはご利用者がお手本となったりと毎回いろんな空気感でおこなっております。体を動かす事でより一層達成感や楽しさが多くなります！

体操レク

職員 が 楽しく 学べ 実践できる ！

認知症専門の特養として、**認知症ケア** における知識と技術を職員みんなで日々研鑽しています！

＊ 認知症ケア 事例研究発表会 ＊

毎月1回開催、職員が日々の認知症ご利用者との関わりをプレゼン形式で発表します。発表する職員は自分の介護の思いや考えを発表し、その発表を基に職員みんなでディスカッションし知識や思いの理解を深めます。普段共に過ごす仲間と改めて思いを交わす事は職員にとっても楽しく、そして非常に学びのある時間になります。さらにご利用者へのケアへ実践して行く事も楽しさの1つです！





施設トピックス



老健東館



新型コロナウイルスの影響で今年の夏は家族様に会えない日が続きました。そこで家族様へ残暑見舞いを書いていただきました。家族様の顔を浮かべながら、ご自分の想いを文章にされていました。

老健西館



夏場は利用者様に少しでも「涼」を感じて頂こうと、かき氷作りに挑戦しました。みぞれ・イチゴ・メロンのシロップからお好みみの味を選び、「美味しいね」「子供の頃を思い出したよ」と大変喜んで頂くことが出来ました。

第一特養



コロナが再び流行しており、シート越しの面会が難しく、リモートでの家族面会を行っています。リモートが難しい方にはお便りか家族への電話を行っています。それにより、利用者様や家族様に安心して頂いています。

第三特養



コロナ禍の中で家族様との交流を続けていくためにタブレット端末を使用したTV電話や利用者様の暮らしの様子をお手紙として渡してお伝えしています。これからも穏やかな暮らしが続いていくよう感染対策に力を注いでいきます。

ケアハウス



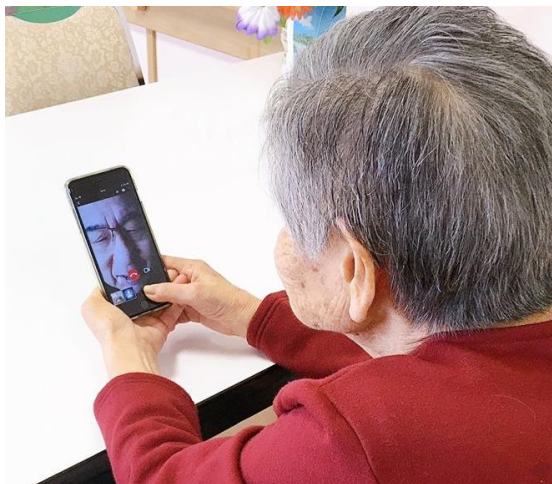
入居様が自室で楽しめるレクリエーションを実施しています。今回は灯笼作りを行いました。多くの方が参加され、皆様思い思いの作品を作っておられました。今後も感染予防に努めながら、入居者の方が楽しんでいただける取り組みを考えていきたいと思っています。

グループホーム



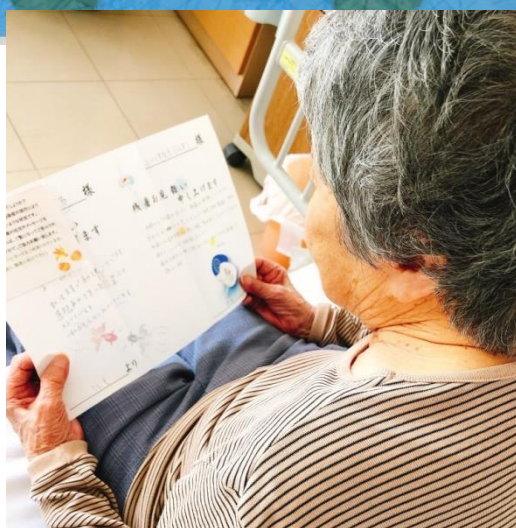
入居様が植え付けから水やりを朝晩毎日され、丹精込めて育てたグループホーム自慢の無農薬野菜！
トマト・きゅうり・トウモロコシと豊作です。苦勞して育てただけに喜びもひとしおです。





面会制限中の各施設の取り組み

面会制限中はWEB面会を積極的に実施しており、希望いただきましたご家族とWEBでテレビ電話をつないで面談を実施しました。面会できない状況が長くなってお互いの安否が気になる中、少しの時間でも顔を合わせてお話できる機会をつくっています。
ご本人とご家族から大変ご好評いただいております。



ご家族への思いをしたためたお手紙をお送りしたり、職員からくらしの様子としてお便りしたり...

ご家族からのお返事も夏の第二波で外出禁止・面会謝絶を強いられた入居者様の大切な心の支えになります。



笑顔の恵泉

情報アラカルト



このコーナーでは、恵泉から皆様へホットな情報をお届けします。発行月によって内容は様々です。インターネットからのウェブサイトにも情報を掲載していますのでぜひご覧ください。

介護予防をメインとした複合的な地域活動「100まで歩こうプロジェクト」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっておりましたが、9月19日に活動を再開いたしました。感染拡大防止の対策を可能な限り行いながら、地域の皆様の健康に繋がる楽しい活動を実施して参ります。

地域活動再開のお知らせ



【活動日】

第3土曜

13時～14時

【場 所】

コープ大久保

2階交流スペース

明石恵泉福祉会では、新型コロナウイルスの流行に伴い、現在は面会を一部制限しております。

面会時間や方法につきましては各施設の窓口にお問い合わせください。

また、制限の解除につきましては改めてご報告させていただきます。

ご面会について

基調講演中止のお知らせ

毎年文化の日に開催しておりました基調講演ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から今年の開催は中止となりました。



《施設の問い合わせ先》

- 介護老人保健施設恵泉 078-936-8003
- 特別養護老人ホーム恵泉 078-936-8160
- 恵泉第2特別養護老人ホーム 078-938-6933
- 恵泉第3特別養護老人ホーム 078-934-9111

- ケアハウス恵泉 078-938-2200
- 第2ケアハウス恵泉 078-938-2600
- 恵泉グループホーム 078-938-6988
- 恵泉きずな 078-948-2778

** 編集後記 **

新型コロナウイルスによって多くの病院や介護施設が面会制限せざるを得なくなり、ご利用者とご家族が気軽に顔を合わせることが難しくなっていました。

恵泉では手紙や電話などの従来の方法やインターネットを使った新たなコミュニケーションを活用してご本人とご家族との「絆」をつなぐ支援をこれからも積極的に行っていきます。

